

#17 / #18 / #19

Birth Racing Project

Press release - 2021.5.31



Race Report

MINI
CHALLENGE



MINI CHALLENGE JAPAN2021 Round-2 / SUZUKA

(2021.5.31)

2021年5月31日(日)、MINI CHALLENGE JAPAN.2021 Round.2が、鈴鹿サーキットで開催されました。MINIチャレンジ初の鈴鹿ラウンドであり、BRPの地元でのレースという事で否が応でもテンションがあがる鈴鹿戦となりました。今季のMINIチャレンジJAPANには、JCWクラス1台・CPSクラス2台の合計3台の車両をエントリーしており、表彰台獲得を目指して3台ともに真夏のような気温・路温となった鈴鹿サーキットに挑みました。

【MINIチャレンジJAPAN2021 Rd.2 第3戦 予選結果】

JCWクラス	17号車	鈴木建自	1位
CPSクラス	18号車	奥村浩一	3位
CPSクラス	19号車	吉田知史	6位

【MINIチャレンジJAPAN2021 Rd.2 第3戦 決勝結果】

JCWクラス	17号車	鈴木建自	3位
CPSクラス	18号車	奥村浩一	4位
CPSクラス	19号車	吉田知史	6位

【MINIチャレンジJAPAN2021 Rd.2 第4戦 決勝結果】 ※第3戦決勝結果のリバースグリッド

JCWクラス	17号車	鈴木建自	2位
CPSクラス	18号車	奥村浩一	8位
CPSクラス	19号車	吉田知史	7位

JCWクラス17号車鈴木建自選手はレースを始めてまだ1年しか経っていませんが、昨年から確実にスキルと経験を身に付けてきて、第3戦では初のポールポジションを獲得しますが、決勝レースではオーバーテイクの際にマシンコントロールを仕切れずに、グラベルストップとなりました。まだまだ粗削りながらし確実な成長を感じ取れるレースとなりました。CPSのクラス18号車奥村浩一選手は、第4戦では表彰台を狙える位置でレースをしていましたが、想定以上の気温の上昇により駆動系の熱害により制御が入りエンジンが吹けない症状が発生し、無念の最下位でのチェッカーとなりました。CPS19号車の吉田知史選手も、18号車奥村選手と同様の熱害により制御によりパワーダウンして、戦線離脱となり、7位でチェッカーとなりました。

今季からCPSクラス参戦というBRPとしては初めてのナンバー付きクラス(JAF Nゼロ車両)での参戦という事で、今回のような想定されないECUのトラブルに悩まされる事により、参戦初年度という事で経験値の低さが露呈してしまったレースとなりました。ですが、レースはまさに実験室ですのでしっかりとこの苦い経験は蓄積して、改善を繰り返して少しでも早く、安心してレースに集中できる環境を構築致します。引き続きのご支援・ご声援何卒よろしくお願い致します。



■ BRPパートナー企業



順不同



BIRTH RACING PROJECT
www.brp.gr.com